

■コメント

1. インフルエンザ

定点当り11.0人とやや減少し、4週連続で減少していますが、まだ注意報レベル(定点当り10.0人)を超えており、多い状態が続いています。

引き続き体調管理に注意するとともに、手洗い・うがいや混み合った場所でのマスクの着用など感染予防対策を徹底しましょう。

2. RSウイルス感染症

定点当り2.96人とやや増加し、6週連続で増加しています。

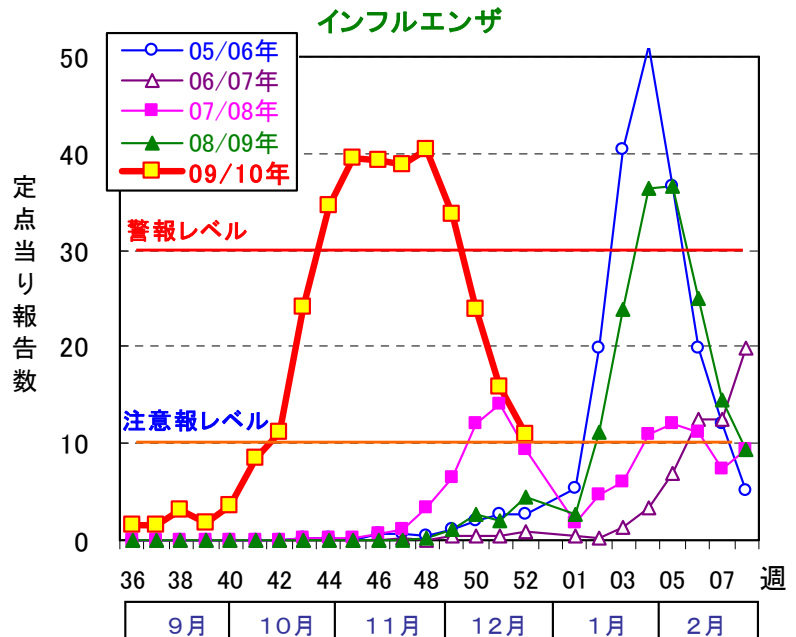
最も流行する時期であり注意が必要です。

3. 感染性胃腸炎

定点当り9.08人とやや増加し、4週連続で増加しています。例年冬季はウイルス性の感染性胃腸炎が多くなり、特に今の時期はノロウイルスを原因とする感染性胃腸炎が多くなりますので手洗いなどの予防対策を徹底しましょう。

4. 後天性免疫不全症候群

2件の報告があり、2009年の累計は25件となり、これまでの年間報告数の最高値(2004年の20件)を上回っています(12月27日現在)。



広島市衛生研究所の検査結果では、第52週は9人からインフルエンザウイルスが検出され、すべて新型インフルエンザウイルスでした。検出状況等の詳細は以下のホームページを参照してください。

http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/kan_center/rinzi/inf/inf_rinzi_gr.htm

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注)間	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注)間	発生記号
インフルエンザ	408	11.03	3.47	◇	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.04	
咽頭結膜熱	3	0.13	0.24		流行性耳下腺炎	29	1.21	0.75	◇
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	0.92	1.29	◇	RSウイルス感染症	71	2.96	1.37	◇
感染性胃腸炎	218	9.08	16.52	◇	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	41	1.71	3.34	◇	流行性角結膜炎	1	0.13	0.53	
手足口病	2	0.08	0.21		細菌性髄膜炎	1	0.14	-	
伝染性紅斑	1	0.04	0.19		無菌性髄膜炎	-	-	0.11	
突発性発しん	12	0.50	0.74		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.26	
百日咳	9	0.38	0.15		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況(新型インフルエンザを除く)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	5	216	女性(40歳代)・1人、女性(50歳代)・1人、男性(60歳代)・1人、男性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・1人
4	レジオネラ症	1	7	男性(50歳代)
5	後天性免疫不全症候群	2	25	男性(30歳代)・感染者、男性(50歳代)・感染者

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウイル ス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺 炎	クラミ ジア肺 炎
報告数	広島市	第48週	1,498	6	20	65	35	13	1	21	6	-	27	24	-	7	-	-	-	-
		第49週	1,250	1	13	99	45	3	1	19	8	-	22	30	-	7	2	-	1	-
		第50週	882	10	22	154	41	4	1	13	5	-	28	39	-	8	1	-	2	-
		第51週	587	6	18	196	37	4	1	17	9	-	25	49	-	4	-	-	-	-
		第52週	408	3	22	218	41	2	1	12	9	1	29	71	-	1	1	-	-	-
定点当り	広島市	第48週	40.49	0.25	0.83	2.71	1.46	0.54	0.04	0.88	0.25	-	1.13	1.00	-	0.88	-	-	-	-
		第49週	33.78	0.04	0.54	4.13	1.88	0.13	0.04	0.79	0.33	-	0.92	1.25	-	0.88	0.29	-	0.14	-
		第50週	23.84	0.42	0.92	6.42	1.71	0.17	0.04	0.54	0.21	-	1.17	1.63	-	1.00	0.14	-	0.29	-
		第51週	15.86	0.25	0.75	8.17	1.54	0.17	0.04	0.71	0.38	-	1.04	2.04	-	0.50	-	-	-	-
		第52週	11.03	0.13	0.92	9.08	1.71	0.08	0.04	0.50	0.38	0.04	1.21	2.96	-	0.13	0.14	-	-	-
	全国	第50週	27.39	0.13	1.06	4.79	1.33	0.25	0.08	0.52	0.03	0.06	0.74	0.78	0.01	0.37	0.02	0.02	0.33	0.03
		第51週	22.44	0.16	1.13	6.25	1.53	0.23	0.07	0.53	0.02	0.04	0.78	1.05	0.02	0.40	0.02	0.01	0.30	0.03

■新たに判明した病原体検出状況(新型インフルエンザを除く)

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	3	女	2009/12/16	咽頭拭い液	RSウイルス
RSウイルス感染症	0	男	2009/11/18	咽頭拭い液	RSウイルス
無菌性髄膜炎	0	女	2009/10/16	髄液 糞便	パレコウイルス4型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

■広島市における新型インフルエンザ発生状況(PCR検査確定例)

第52週

サーベイランスの種類	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合 計
病原体サーベイランス	3	2							5
入院サーベイランス	4								4
その他									
合 計	7	2							9

2009年累計(7月24日以降)

サーベイランスの種類	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合 計
病原体サーベイランス	92	126	36	18	9	4	3	4	292
入院サーベイランス	31	10	1	3	1	1	1		48
その他	4	5	3						12
合 計	127	141	40	21	10	5	4	4	352

- ・すべて広島市衛生研究所のPCR検査による確定例です。
- ・病原体サーベイランスは、病原体定点において原則ランダムにインフルエンザ様疾患の患者の検体を検査するものです。
- ・入院サーベイランスは、新型インフルエンザによる重症者の発生動向を把握するなどの目的で、入院患者の検体を検査するものです。
- ・病原体サーベイランスの患者で入院した場合は、入院サーベイランスに計上します。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
 なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
 TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2009年第52週(12月21日～12月27日)